

近畿アグリレター Vol.472発行 農林水産省近畿農政局 2024.11.8

- ・近畿農政局ホームページ <https://www.maff.go.jp/kinki/>
- ・近畿農政局フォトレポート <https://www.maff.go.jp/kinki/photo/index.html>
- ・近畿農政局管内広報誌 <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/magazine/mini/index.html>
- ・近畿農政局 SNS 一覧 <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/SNS/kinkisns.html>
- ・農林水産省 Facebook <https://www.facebook.com/maffjapan>
- ・農林水産省広報誌 aff <https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>
- ・農林水産省 MAFF アプリ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/maff-app.html>

1. 農政の動き

- ~~~~~

＜募集・案内＞

- ~~~~~

~~~~~

◆職員自らが、農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

~~~~~

5.統計情報

- ◆特定作物統計調査 令和 6 年産「い」の作付面積、収穫量及び置表生産量（熊本県）
- ◆作物統計調査 令和 6 年耕地面積（7 月 15 日現在）
- ◆令和 5 年 生産者の米穀在庫等調査結果（令和 6 年 6 月 30 日現在の在庫量）
- ◆農業経営統計調査 令和 5 年産米生産費（個別経営体）
- ◆農業経営統計調査 令和 5 年産米生産費（組織法人経営体）
- ◆作物統計調査及び特定作物統計調査 令和 6 年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積
- ◆令和元年産農作物共済統計表

1.農政の動き

- ◆近畿食と農まるとブッカー近畿の食料・農業・農村（主な動向）－（令和 5 年版）を掲載しました

「近畿食と農まるとブッカー近畿の食料・農業・農村(主な動向)－」は、近畿農政局が、近畿地方における食料・農業・農村に関する動向、主要施策の取組状況、地域の取組事例をとりまとめたものです。各地域での食料・農業・農村分野の様々な取組について、理解・関心を深めていただき、今後、これらの取組をさらに進めていくための参考としてご活用ください。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/kikaku/wpaper/index.html#marugoto>

- ◆みどりの食料システムに関する情報発信を行う Instagram アカウントを開設しました！

令和 6 年 10 月に近畿農政局の若手職員によるみどりの食料システム戦略に関する情報発信等を行う「ええやん！みどり」プロジェクトチームを発足させました。Instagram では、プロジェクトチームのメンバーがみどりの食料システム戦略に関する管内の取組やイベント情報をお届けしていくので、ぜひフォローしてください！

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/keikaku/senryaku/210825.html#wakate>

- ◆野菜の入荷量と価格の見通し（11 月分）

大阪市中央卸売市場に入荷する主要野菜についての入荷量と卸売価格の見通しを別添のとおり公表したので、お知らせします。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/engeitokusan/yasai/kakaku.html>

- ◆令和 6 年産米の契約・販売状況、民間在庫の推移及び米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向について（令和 6 年 9 月末現在）

農林水産省は、「令和 6 年産米の産地別契約・販売状況（令和 6 年 9 月末）」、「民間在庫の推移（令和 6 年 9 月末）」及び「米穀販売事業者における販売数量・販売価格の動向（令和 6 年 9 月末）」について取りまとめました。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kikaku/241029.html>

◆有機農業の日（オーガニックデイ）～有機農業を盛り上げる取組に参加しませんか～

農林水産省は、令和 6 年 11 月 18 日（月曜日）から 12 月 13 日（金曜日）を有機農業の日特別期間とし、特設サイトを開設し、「学校給食での有機農産物の利用」、「有機食品の販売促進の取組」を推進すると共に、「有機農業関連イベント」をご紹介します！

有機農業推進法が成立してから 10 周年を記念し、2016 年に、12 月 8 日が記念日「有機農業の日」として制定されました。有機農業とは、化学肥料や化学農薬を原則使わず、可能な限り環境に配慮した栽培方法であり、土壌環境や生物の多様性など農業生態系を守ることにつながります。

12 月 8 日「有機農業の日（オーガニックデイ）」をきっかけに、有機農産物を活用した給食の提供や有機食品の販売促進、情報発信などに取り組んで、有機農業の推進に参加してみませんか？

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/yuki1208/yukinohi.html>

◆11 月は「和ごはん月間」、11 月 24 日は「和食の日」！

～身近・手軽な和食を楽しもう！～

「和食の日（11 月 24 日）」を含む 11 月は、官民協働「Let's！和ごはんプロジェクト」の集中活動月間である「和ごはん月間」です。プロジェクトメンバー間の連携企画、各種イベント等を実施します。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/241030.html>

◆相続登記の申請義務化のご紹介

【相続登記の申請義務化】

今、耕作している農地の登記名義がお亡くなりになった方のままではありませんか？

不動産登記簿を見ても所有者がわからない土地、このような所有者不明土地の発生を予防するため、不動産登記法の改正によって、令和 6 年 4 月から、農地を含めて相続登記の申請が義務となりました。相続により土地を取得したことを知った日から 3 年以内に法務局に相続登記の申請をする必要があります。

気になる方は、お近くの法務局（予約制で登記の手続案内を実施）や司法書士等の専門家にご相談してみてください。

◇「相続登記の申請義務化」について詳しくはこちら（法務省ホームページ）

→ https://www.moj.go.jp/MINJI/minji05_00590.html

◆2025 年農林業センサスキャンペーンサイト開設について

農林水産省では「2025 年農林業センサス」を令和 7 年 2 月 1 日現在で実施します。

農林業センサスは、我が国の農林業を営む方や農山村の実態を明らかにするため、5 年ごとに行っている調査です。調査の対象は全国の農業・林業を営むすべての方で、農林業に関する最も基本的で、重要な統計を作成することを目的としています。調査への御協力をお願いします。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2025cp/cp99.html>

2.お知らせ

<募集・案内>

◆食育イベント「～農業体験を通じて食とその未来を考えよう！～」の開催及び参加者の募集について

～農業体験現場からの実況で食の未来を議論します！～

近畿農政局は、令和 6 年 11 月 16 日（土曜日）に食育イベント全国キャラバンの一環として「～農業体験を通じて食とその未来を考えよう！～」を開催します。

■開催日時：令和 6 年 11 月 16 日（土曜日）14 時 00 分～16 時 00 分（120 分間）

■開催場所：京都リサーチパーク 1 号館 G 会議室（京都市下京区中堂寺南町 134）

■申込締切：令和 6 年 11 月 13 日（水曜日）

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/241010.html>

◆スマート農業推進フォーラム 2024 in 近畿スマート農業技術は実証から実装へ「みどりの食料システム戦略」関連技術の紹介

本年 10 月に施行された「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律」を踏まえ、本法律の現場への周知と理解の促進を図るとともに、「みどりの食料システム戦略」の推進とあわせて、既存の優れた技術の横展開等を図る必要があります。

特に、スマート農業技術等については、実証から社会実装をより一層加速化するため、農業者や企業をはじめとした多くの関係者や関係機関に対し、広く情報発信するほか、スマート農業に関心をお持ちの方々が、スマート農業技術に関する最新の情報を入手でき、企業や関係機関等が意見交換できる機会を設けることが重要です。

このため、近畿管内生産者にスマート農業の取組等を紹介するセミナー及び企業と生産者等による情報交換を行う「スマート農業推進フォーラム 2024in 近畿」を開催します。

■開催日時：令和 6 年 12 月 3 日（火曜日）13 時 30 分～16 時 40 分

【セミナー】13 時 30 分～15 時 40 分、【情報交換会】15 時 40 分～16 時 40 分

■開催場所：ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワー C Room C01+02

（大阪府大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館内（タワー C8 階））

100 名までの先着順で対面での参加者を募集します。なお、第 1 部のセミナーのみ Teams 配信も行います。第 2 部ではブース等でのスマート農業機器等の製造・販売企業等との情報交換も行いますので、なるべく会場にお越しください。

■申込締切：令和 6 年 11 月 26 日（火曜日）

参加者が多数の場合、参加申込みを打ち切らせていただきますので、御了承ください。

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/smart/241022.html>

◆農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」を 基礎から学べる研修会を開催します！（近畿地区）

～「みえるらべる」で環境にやさしい農産物を PR しませんか？～

農林水産省は、本年 3 月に本格運用を開始した、農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」を更に一層拡大するため、生産者、流通・小売事業者、JA・地方自治体などの職員等を対象とした研修会を開催します。

本研修会は、「見える化」の基礎から、登録に必要となる実際の算定シートの入力方法まで説明しますので、ぜひ御参加ください。

- 開催日時：令和 6 年 12 月 18 日（水曜日）13 時 30 分から 15 時まで
- 開催場所：近畿農政局第 1 会議室（京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町）
Web 会議システムを通じての参加も可能です。
- 申込締切：令和 6 年 12 月 16 日（月曜日）17 時

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/241030.html>

◆ 令和 6 年度国内肥料資源の利用拡大セミナー及び情報交換会の参加者と出展者の募集について

我が国の肥料は、その原料の多くを海外に依存していることから、国際市況や原料産出国の輸出に係る動向の影響を強く受けざるを得ない状況にあります。肥料を生産現場に安定的に供給していくためには、海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料への転換を進め、肥料製造事業者、肥料供給事業者、肥料利用者が連携して、これらの肥料やその原料の供給又は利用を拡大していく必要があります。

このため、「国内肥料資源の利用拡大セミナー及び情報交換会」を開催し、肥料関係事業者による国内肥料資源を活用した取組等を紹介するセミナー及び肥料関係事業者間の連携づくりや情報交換を行います。

- 開催日時：令和 6 年 12 月 13 日（金曜日）13 時～16 時 30 分
[セミナー]13 時～14 時 30 分、[情報交換会]14 時 30 分～16 時 30 分
- 開催場所：大阪合同庁舎 1 号館 第 1 別館 2 階大会議室（大阪市中央区大手前 1 丁目 5-44）
- 開催方法：会場開催…セミナー及び情報交換会（100 名）
オンライン開催…セミナーのみ（200 名）（Microsoft Teams での配信）
- 申込締切：（参加者）令和 6 年 12 月 6 日（金曜日）17 時まで
（出展者）令和 6 年 11 月 29 日（金曜日）17 時まで

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kankyo/241101.html>

◆ 第 2 回フラッグシップ輸出産地の募集を開始します！

農林水産省は、今後、一層の輸出拡大を図るため、輸出先国・地域のニーズや規制に対応した農林水産物を求められる量で継続的に輸出する産地を「フラッグシップ輸出産地」として認定しています。今回募集対象品目として新たに林産物、水産物を加え、第 2 回募集を開始します。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/s_keisei/241101.html

◆ 第 15 回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスタース」受賞者の決定及び授与式の開催について

～第 15 回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスタース」受賞者決定！～

農林水産省は、第 15 回農林水産省料理人顕彰制度「料理マスタース」の受賞者（ゴールド賞 3 名、シルバー賞 4 名、ブロンズ賞 7 名）を決定しました。

また、授与式を令和 6 年 11 月 19 日（火曜日）に開催します。

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/gaisyoku/241030.html>

◆令和 6 年度農村 RMO 推進フォーラムの開催について

近年の農村、特に中山間地域等では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、地域資源（農地・水路等）の保全や生活（買い物・子育て等）などの集落維持に必要な機能が弱体化しています。このため、農家・非農家が一体となり、農業生産、資源管理、生活扶助の 3 つの集落機能を補完する農村型地域運営組織（農村 RMO）による地域コミュニティ機能の維持・強化が求められています。ついで、農村 RMO の普及啓発及び農村 RMO に取り組む関係者の知見の向上と情報・意見交換を図ることを目的として、近畿農政局及び株式会社 JT B 共催で「農村 RMO 推進フォーラム」を開催します。

- 開催日時：令和 6 年 11 月 26 日（火曜日） 13 時 30 分～16 時 30 分
- 開催場所：ピアザ淡海県民交流センター 3F 305 会議室（滋賀県大津市におの浜 1-1-20）
- 参加対象：農村 RMO モデル形成支援実施地区、都道府県及び市町村の農業・福祉・社会教育・地域づくり等の担当者、JA、土地改良区、社会福祉協議会、公民館関係者など、農村 RMO の形成推進に取り組む関係者や農村 RMO に興味のある方など。（参加自由）
- プログラム：持続可能な地域づくりとその支援に関する基調講演、ディスカッション、事業紹介
- 募集定員：対面参加：50 名程度、オンライン参加：100 名程度
- 申込締切：11 月 19 日（火曜日）17 時 00 分
オンライン参加は 11 月 25 日（月曜日）締め切り

詳しくはこちら（近畿農政局ホームページ）

https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/241031_1.html

◆全国ジビエフェアを開催します！

～ジビエの季節がやってきました！～

農林水産省は、ジビエ（野生鳥獣肉）の普及、需要拡大に向け、全国ジビエフェアを開催します。ジビエメニューを提供する全国の飲食店やご当地フェア等の情報を特設サイトで紹介していますので、この機会にぜひジビエを楽しんでみてください。

- 全国ジビエフェア特設サイト：<https://www.gibier-fair.jp/>

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/241101.html>

3. フォトレポート・きんき食と農デジタルミュージアム

◆近畿農政局管内で頑張る生産者・事業者の方々の紹介、近畿農政局のニュースなどをホームページで写真や動画により紹介しています。

◇滋賀県湖南市

棚田を通じて地域振興を図る

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/otsu/photo/20241018.html>

◇兵庫県神戸市

日本政策金融公庫神戸支店及びみなとキャピタルとの意見交換会を行いました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2024/241029.html

◇兵庫県加東市

加東市が「オーガニックビレッジ」を宣言しました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2024/241105.html

◇兵庫県神戸市

【国産飼料】神戸市西区でデントコーンの収穫が行われました

https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/hyogo/p_repo/2024/241106.html

◇和歌山県和歌山市

和歌山市立日進中学校で出前授業！－農家の生の声を聞き、食と未来について考える－

<https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/wakayama/photo/img/1106/1106.html>

◇滋賀県大津市

環境に配慮した米粉等の商談会を開催しました

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/241031.html>

◇京都府京都市

神戸大学大学院農学研究科と包括的連携協力に関する協定を締結

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/241105.html>

4. BUZZMAFF（ばずまふ）

◆近畿の「BUZZMAFF（ばずまふ）」

BUZZMAFFとは、職員自らが農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

■【BUZZMAFF デビュー作！】ナンソレ珍百景～農水省1年生、ナゾの自動販売機に迫る～

今回はナンソレ珍百景と題して、大阪府高槻市にある謎の自動販売機を調査してきました。一体どのような自動販売機なのか！？必見です！さらに、米粉を使ってサクサクのから揚げを作ってみました。

本作は、入省1年目の職員が初めて作成したBUZZMAFF動画です。どきどきのデビュー作となっていますが、温かい目でご覧ください。

【公開 URL】

https://youtu.be/h_phoz1cbkY

<https://youtube.com/shorts/ieLZ5uGI9Q>

«となりの近畿»

<https://www.maff.go.jp/kinki/photo/kekka/video/b10.html>

5.統計情報

◆特定作物統計調査 令和6年産「い」の作付面積、収穫量及び置表生産量（熊本県）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokutei_sakumotu/#y6

◆作物統計調査 令和 6 年耕地面積（7 月 15 日現在）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/#y1>

◆令和 5 年 生産者の米穀在庫等調査結果（令和 6 年 6 月 30 日現在の在庫量）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kome_zaiko/#y3

◆農業経営統計調査 令和 5 年産米生産費（個別経営体）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/#y1

◆農業経営統計調査 令和 5 年産米生産費（組織法人経営体）

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/#y11

◆作物統計調査及び特定作物統計調査 令和 6 年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/#y6>

◆令和元年産農作物共済統計表

詳しくはこちら（農林水産省ホームページ）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nousaku_kyosai/#r

∞ * 編集後記 * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞ * ∞

立冬を過ぎ暦の上では冬となり、朝晩だけでなく日中も寒と感じる日が続いています。冬になると恋しくなるのが白菜や大根などの野菜が美味しく食べられる『鍋料理』ですね。

11 月頃から出回り始める伝統的な京野菜『聖護院大根』は、千枚漬けが有名ですが、苦みや辛味が少なく煮込むとなめらかな口当たりで甘くなることから、お鍋にいれても美味しいですね。

今年の冬もいろいろな具材やスープを組み合わせた『鍋料理』を楽しみたいと思います。

■ □ ■

☆配信停止、メールアドレス等変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をお願いします。

☆配信中止・配信メールアドレスの変更・バックナンバーの閲覧は、

⇒ <https://www.maff.go.jp/kinki/pr/mmg/index.html>

編集・発行：近畿農政局 企画調整室

〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

電話：075-414-9037（直通）

■ □ ■ □ ■